

## 令和3年度 第8回ACP作業部会議事録

日 時 令和3年12月9日(木)

午後2時～午後3時

場 所 安城市医師会館 2階 大会議室

参加者 別紙参照

### 部会長より挨拶

マニュアルはほぼ完成に近づいている。わたしノートもほぼ決定である。本日の予定はマニュアルの周知のための研修会について、各グループで説明内容を検討して欲しい。グループの割り振りは資料を参照。各グループ15分程度で発表できるようまとめて欲しい。マニュアルは研修受講生の手元に研修日までに渡すよう調整中。2月上旬には各部署に配布及び安城市ホームページに掲載する予定。研修会ではPPを使用して説明をする。

### 事務局より連絡

衣浦東部広域連合消防局の荻野様より頂いている。諸事情により今後本会への参加を遠慮させて頂きたいとの申し出があった事を皆様にご報告する。

ACP マニュアル研修会は1回とし、令和4年2月16日(水)18:30～とした。

グループに1冊資料を置いてあるので、発表時に使用する部分に丸を付けて提出。発表者、代理者の決定を本日中に行って欲しい。

### 議題

#### 1. ACP マニュアル研修会発表内容についてグループワーク及び発表

##### 1G：意思形成支援・意思表示支援

意思形成支援ではテーマと「ポイント」の部分を中心に説明する。情報共有シート作成時の注意点の部分ではわたしノートの活用につなげられるような説明をしたい。

意思表示支援についてもテーマを中心に、コミュニケーションスキルや支援者の資質向上につなげていきたい。

##### 2G：意思決定支援・意思実現支援

意思決定支援の基本を説明。「一人で決めない」や人生の最終段階の図を使用しながら説明をする。協働意思決定では双方向で循環するという部分を強調。

ソムリエの例を説明。代弁者については意思形成支援の際に代弁者が選定できていた方が良いので、意思形成支援時にも代弁者を決めていく方が良い事。代弁者の負担軽減に努める。意思実現支援では図を使って説明。パスポートの様に意志が繋がるのが大切。人生最後の意思実現の部分は病院の事例について少し説明を加える。家族満足度の向上につながるという事も説明したい。総論でも話す重要な点なので繰り返し説明する。

### 3 G：他職種連携のポイント、

支援者の役割について各職種の役割を説明し、立場の違いも含めて伝える。相手を尊重した態度を心掛ける事やアサーションについても伝える。個人の知識は限界があるので多職種の集合知を得る事を伝える。

疾患別ではがん・非がんでの違い、大事なことは急性増悪時には決めない。認知症に対する関わり方をポイントとして伝える。

状況別では本人家族の思いが違う時には倫理の部屋の紹介もする。

### 4 G：支援者の資質向上

「安心して自信を持って関わるために」の部分は事業所内でも話し合うよう進める。サルビー見守りネットの活用では専門職間の情報共有ツールと紹介。

サルビー見守りネット活用方法の説明。

わたしノートの活用方法については、ノートに乗っているサブタイトルを説明し、話し合う事も重要。わたしノートの図や人生の折れ線グラフの記載例をPPにまとめて見せる

## 2. 事務局より

本日検討した ACP マニュアル(資料)に丸を付けて事務局に提出。発表者に最新版の ACP マニュアルとわたしノートの PowerPoint 資料をメール送信するので、各自で PowerPoint 発表者ビューに原稿を記入して、在宅医療サポートセンターに 12 月 23 日までにメールにて返信する。2 月の ACP 作業部会で研修会のデモを行う予定。本日広報あじょうに掲載する写真撮影をする。

次回 第3回 ACP 作業部会 令和4年1月13日(木) 14時~15時 安城市医師会館